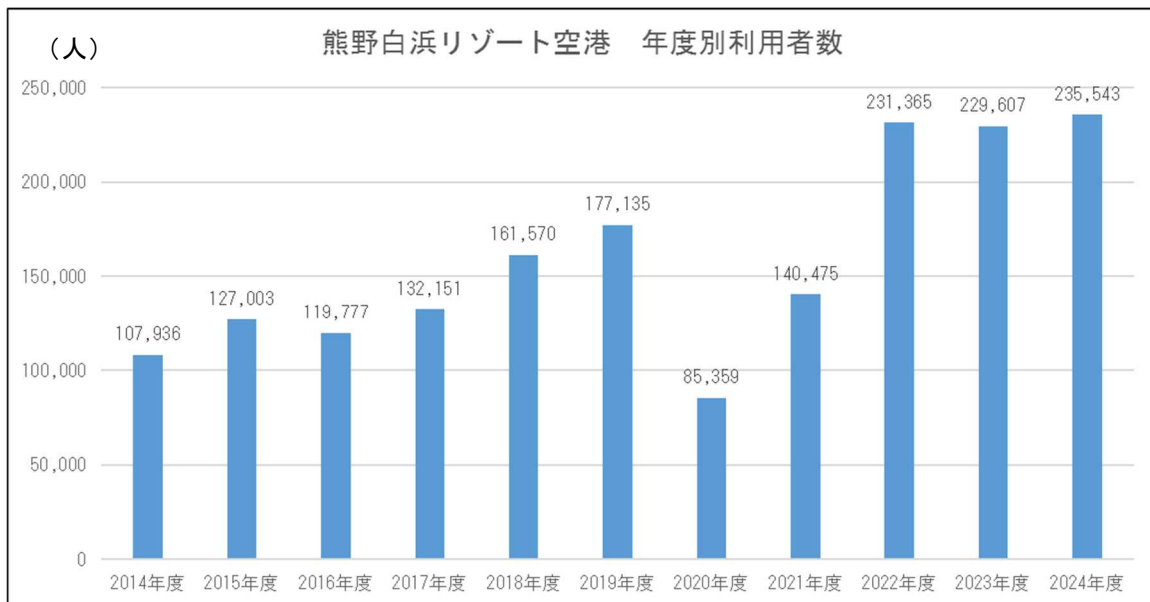


熊野白浜リゾート空港の利用状況等について

2024年度における利用者数が235,543人（速報値）となり（これまでの過去最高は2022年度の231,365人）、過去最高を更新しました。

2024年度 熊野白浜リゾート空港 月別利用者数 （※背景が灰色の月は月別の過去最高）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数 (人)	15,484	17,854	14,843	19,117	22,040	19,765	22,981	23,315	20,130	17,866	19,553	22,595



今後とも、2025年3月24日付で締結した和歌山県と日本航空株式会社との包括連携協定の内容の実施等、民間とも連携し、全庁を挙げて振興策に取り組めます。

また、滑走路延伸について、現時点では技術的に可能との検討状況であり、引き続き検討を進めてまいります。現在までの検討状況は別紙のとおりです。

（参考）和歌山県と日本航空株式会社との包括連携協定

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/082400/shirap/renkeikyotei.html>

（連絡先）

県土整備部港湾空港局港湾空港振興課

担当：楠本、萩、須山

電話：073-441-3151

内線：3151

熊野白浜リゾート空港 滑走路延伸の検討結果について

◆事業可能性にかかる検討結果

- 整備については、現時点では技術的に可能と判断（住民の理解や関係者調整等は必要）
- 今後、利用者増に伴う国内線の大型化や様々な地域からの国際線受け入れに対応するためには、滑走路延伸が必要
- 将来需要として、羽田線などの利用者が年間55万人程度であれば、B/Cは1.2程度（整備効果が見込まれる）
（参考）国の補助事業採択においても、羽田線の年間50万人以上の利用が必要

◆今後の方針

- 国内線の利用者について、まずは毎年2万人ずつの利用者増を目指し、各種利用促進施策を実施していく
〔目標 5年後（2029年度）：30万人及び羽田線4往復8便化、滑走路延伸後：50万人〕
- 国際線については、将来的な定期便の就航を目指し、積極的にチャーター便を誘致していく
- 並行して、引き続き滑走路延伸にかかる検討を実施していく



◆2025年度の予定

就航率調査、運航空域調査を実施した上で、基本計画として、滑走路延伸方向、空港施設配置、航空保安施設、進入出発方式、工事費などを整理